



## ～私と誰かの笑顔につながる～ エシカルなお買い物

持続可能な世界のために、おかやまcoopでは  
「地域・社会・環境・人々」の4つの視点ですすめています。



### 地域 Community

#### 豊かな地域

##### coopの産直



「産直」の実現によって、岡山県内の畜産農家や酪農家を買支えることができ、安定供給につながります。

##### おかやま育ち



主要原材料に岡山県産の農水畜産物を使い、おかやまcoopおよびcoopCSネットが開発した商品と県内商品。開発、普及に取り組んでいます。

### 環境 Environment

#### 「環境」を守り続ける

##### もづく基金



※対象商品は恩納村産もづく

##### せとうち里海再生支援基金

coop地域づくり協働基金から拠出し、瀬戸内の豊かな里海を育てる活動(アマモ場再生活動)を支えます。

### 社会 Society

#### 公正な社会のしくみ

##### CO・OPコアノンスマイルスクールプロジェクト

利用1点に対し1円が、ユニセフ主催のアンゴラ共和国「子どもにやさしい学校づくり」プロジェクトへの支援になります。



##### CO・OP×レッドカップキャンペーン

利用1点に対し1円を積み立て、国連WFPを通してミャンマーの子どもたちに学校給食を届けるために使われます。



※2022年の対象商品はcoopヌードルなど全14商品

### 人々 People

#### 人々の「生きる」を支える

##### ピンクリボン運動



coop化粧品1点につき1円をJ.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)に寄付、乳がんに対する啓発活動や患者や家族の支援をすすめています。



※対象商品はcoop応援食クッキー各種

##### 障害者スキーチームの活動を応援

身近な支援として「CO・OP応援食クッキーシリーズ」は、障害者ノルディックスキー日本ジュニアチームの活動を応援しています。

「身近でできるSDGs、エシカルキャンペーン2021」には

1万5千人が参加し、エシカル消費を知り、  
体験する機会となりました。

2022年度も実施します。



# おかやまcoop Report

OKAYAMA COOP REPORT 2022



つながり育む  
笑顔広げる  
豊かなくらし

# 生協は「くらし」を支える課題に

生協(生活協同組合)は、よりよいくらしを願う消費者一人ひとりが、組合員となって参加し、利用し、運営する宅配や店舗での商品供給事業をはじめ、共済、福祉事業など各種の事業で組合員のくらしを支えています。

## おかやまコーポの理念

# 思いやりのこころでつなぐ人間らしいゆとりのあるくらしの創造 参加・自主・自立て学び成長する多数者組織の実現 協同と連帯がはぐくむ組織と地域社会の発展

## おかやまコーポのビジョン

# つながり育む 笑顔広がる 豊かなくらし

生協へ高まる期待

## 生協行政の基本的考え方について

組合は、互助の組織として、(中略)組合員の暮らしを支える事業を行っているが、相互扶助の理念に基づき、地域の見守り活動や子育て支援など、組合のインフラを生かした各種助け合い活動にも積極的に取り組み、地域のコミュニティづくりに寄与しているところである。

また、社会的、公共的役割として、組合の組織力を生かした被災者の支援や社会福祉活動への助成活動といった取り組みを行っているところである。

出所:厚生労働省 社会・援護局関係主管課長会議資料2019年1月18日より抜粋

## 事業及び組合員活動における地域共生社会の実現に向けた取り組みについて

長年にわたり、生活者の目線で暮らしを支える事業と助け合い活動を一体的に行ってきました組合は、事業や活動を通して地域に助け合いの輪を構築しており、今後、自治体や関係団体等とさらに連携を図り、地域社会の困りごとに対応できるよう、事業や組合員活動を積極的に実施することが期待される。

取り組み、豊かな未来を実現します。

協同の力で成り立つ組織です。

また、商品・食育・食の安全・環境・ふくし・子育て・平和・防災など、組合員活動にも幅広く取り組んでいます。



おかやまコープは、ビジョンの取り組みを通して、  
SDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献します。

「おかやまコープのビジョン」と国連で採択された「SDGs」は重なりあうものがたくさんあります。「日本の生協の2030ビジョン」に沿って策定した「おかやまコープ第14次中期計画」に基づいて、おかやまコープのビジョンで掲げた22のテーマのありたい姿を追求していくとともに、SDGsやエシカル消費への理解や共感を社会に広げます。

## ●日本の生協の2030ビジョン



### ●持続可能な開発目標SDGs



# 生涯にわたる心ゆたかなくらし

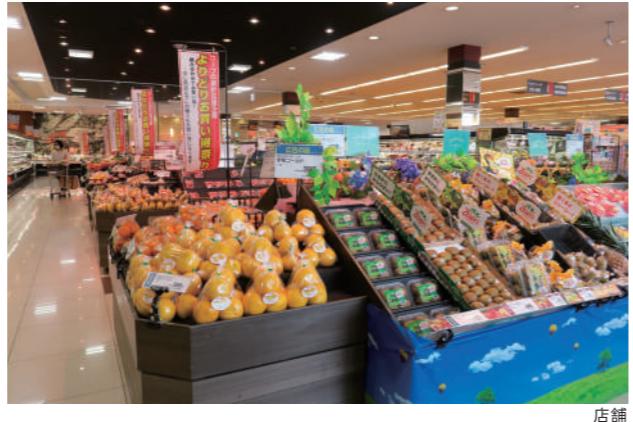
「たすけあいの組織」である協同組合として、宅配、店舗、福祉、子育て、夕食宅配や生活支援サービスなど事業ネットワークの連携により、食を中心一人ひとりのくらしに役立ちを高め、誰もが生涯を通じて利用できる事業を目指します。



商品を毎週決まった場所にお届けすることで、買い物の不便な地域への買い物支援にもつながっています。個配・班配や夕食宅配「たべてん便」では、地域の見守りの役割も果たしています。コープステーションは「生活スタイルに合わせて利用できる」と好評です。



助け合いの気持ちを「かたち」にしたCO・OP共済が多くの組合員に支持され、保有件数は17万9千件となりました。



「おいしいお店」をコンセプトに、ふだんのくらしに欠かせない商品、安全・安心のコープ商品や産直商品、新鮮でお買い得な商品を品揃えしています。太陽光発電設備、リサイクルの推進にも取り組むなど、環境にもやさしいお店です。



岡山市・倉敷市で居宅介護支援と訪問介護、デイサービス事業を展開し、利用者の立場に立ったサービスを提供しています。

## 行政などと連携した買い物支援を行っています。

### 買い物が不便な地域への対応

新庄村の道の駅に「コープコーナー」を設けて生鮮品などの生活必需品を品揃えし、地域の方々のくらしを支援しています。



道の駅「がいせん桜 新庄宿」(新庄村)

### 高齢者向け配食サービスの実施

美作市大原・東粟倉地域では、美作市社協と連携し、高齢者ご自宅に夕食宅配弁当「たべてん便」のお届けを行っています。



社協の配達担当者がお弁当をお届け

# 安心してくらし続けられる地域社会

生活インフラのひとつとして、地域になくてはならない存在となり、地域ネットワークの一翼を担います。



## 地域の再生につながる地域社会づくりへの参加

### 食料自給率向上、循環型農業応援

飼料用米・飼料用稻の使用を通じた食料自給率の向上や、県内の耕畜連携による循環型農業の応援を行っています。

#### エサに含まれる飼料用米の割合

〈年間配合量〉	
コープおかやま豚	50% 約1,500トン
コープおかやま牛	10% 約 170トン
コープおかやま若鶏	20% 約1,975トン
コープ産直こめたまご	20% 約 900トン

### 里海を育てる取り組み

県、日生町漁協、邑久町漁協、笠岡地区漁業連絡協議会、NPO法人「里海づくり研究会議」などと協定を結び、多様な生き物が命を育む「藻場(アマモ場)」の再活動を応援しています。



アマモの種取り(日生町)

### 里山を守る取り組み

保水効果などの役割を持つ棚田を守る「棚田守り隊」を結成し、地元生産組合の方々との交流や農業体験などの活動を行っています。



棚田守り隊(久米南町)

### 持続可能な畜産業の支援

おかやまコープ産直第一号商品「コープ産直こめたまご」の新鶏舎「コープスターファーム」を2022年春から稼働し、最新設備による労働負担の軽減、たまごの安定供給を実現します。



「コープスターファーム」鶏舎と集卵舎(井原市)

## 産直・地産地消を推進しています。

産直事業や地産地消を生産者との協力のもと推進して、食料自給率の向上や地域経済の活性化、環境保全につながる取り組みを応援しています。

また、岡山県産農水畜産物とそれを主原料とした「おかやま育ち商品」の開発・普及を行っています。これらの商品は、ふだんのくらしに欠かせない、健康、美味しさ、品質、簡単便利、適正価格、環境などの魅力にあふれたコープならではの「Cコレ商品」の中心的商品としておすすめしています。



Cコレ商品群

# 安心してくらし続けられる地域社会

生活インフラのひとつとして、地域になくてはならない存在となり、地域ネットワークの一翼を担います。



## 活動を通してすすめる地域社会づくりへの参加

### ●くらしを支え合う活動

生活支援サービスには、月平均で約270件の相談が寄せられています。組合員によるたすけあいの活動「は～と♡ふるネット」は、新見市と早島町で総合事業を受託しています。



は～と♡ふるネットの活動

### ●子育てを応援する活動

地域の親子が気軽に立ち寄り交流する場として、店舗の会議室で「子育てひろば」を開催しています。



子育てひろば

## 行政や諸団体とのネットワークによる地域社会づくりへの参加

### ●望ましい食生活の実現を支える活動

食生活を考えるきっかけとなる「食習慣チェック」や、幼稚園や小学校に出向いて行う「出前授業」などの食育の取り組みを行っています。



「たべる・たいせつ出前授業」(浅口市)

### ●高齢者を地域で支える活動

自治体や社協と協同し、認知症の啓発を目的とする「オレンジウォークinつやま」に参加したり、認知症への理解を深める講座を開催したりしています。



「オレンジウォークinつやま」への参加(津山市)

### ●困難な状況にある方の支援

フードドライブの実施や「フードバンク岡山」への商品提供を行っています。



「ふくしネットそじゅうや」とのフードドライブ(コープ総社東)

### ●コロナ禍の子どもたちの支援

長く続くコロナ禍の中、子どもたちの支援として、取引先の会と協力して児童養護施設にお菓子などを贈呈しています。



児童養護施設への食品贈呈(岡山市)

# 誰一人取り残さない、持続可能な世界・日本

世界の人々とともに、持続可能で、お互いを認め合う共生社会を実現していきます。



### ●くらしを守る活動

消費者被害防止のための学習会や、LPA(ライフプランアドバイザー)による「保障の個人相談」などを行っています。適格消費者団体「消費者ネットおかやま」に参画しています。



「岡山県消費者大会」(岡山市)

### ●国際協力支援活動

ユニセフおよび特定非営利活動法人AMDA(アムダ)への支援を行っています。両団体に対して組合員から寄せられた募金は、国内外での活動に役立てられています。



「ユニセフ ウクライナ緊急募金」贈呈式(2022年3月 オルガ本部)

### ●核兵器廃絶・平和を願う活動

核兵器廃絶に向け、被爆者の会や平和を願う市民とともに、学習会の開催や署名の呼びかけなど、活動の輪を広げています。



「平和の学習会 川崎哲さんの講演」(2022年5月 オルガ本部)

### ●防災・減災の活動、被災地支援

ふだんから防災・減災について継続的に学ぶとともに、災害発生時には自治体との協定に基づき、必要な支援を行います。



被災地応援「つながるカフェ」(2022年3月 コープ鴨方)

### ●環境に配慮したくらし方の学習

行政や他団体と協力し、ごみ問題について学び考える企画を開催しました。



「おかやまコープの環境・サステナビリティ政策」



「クリーンセンター見学」(津山市)